

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人格心理学		選択	2	2,3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
高田 毅	B301	t.takada		木曜日 13:00~14:30	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;心理査定の基本となる人格理解に関する心理学を身につけることを目的とする。人格理解を心理査定に活用し、更には、援助方針に活かせるようになることが目標である。</p> <p>&lt;概要&gt;同時双方向授業で展開する。古代から現代に至るまでの基本理論をおさえつつ、事例の分析のTeamsのコメント機能を用いた擬似ディスカッションなどを通して学習する。</p>				
学習上の助言	<p>Teams上でコメント、発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。</p> <p>講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。</p> <p>体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。</p>				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	<p>性格心理学への招待—自分を知り他者を理解するために/著：詫摩武俊ら/サイエンス社 公認心理師の基礎と実践 第9巻 感情・人格心理学/編：杉浦義典/遠見書房</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人格理論の基礎知識を、対人援助場面で生かすことができる。			心(1)	
②	代表的な人格理論や人格心理学的研究の基礎知識について理解し、説明できる。			心(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。人格心理学概論を理解する。	同時双方向型授業	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	3	
2	人格、性格、気質などの言葉の定義を理解する。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
3	類型論を理解する。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
4	特性論を理解する。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
5	表現と防衛機制、欲動展開図式を理解する。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
6	防衛機制の各論を理解する①	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
7	防衛機制の各論を理解する②	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
8	パーソナリティスタイル理論を理解する。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
9	パーソナリティスタイルの各論を理解する①。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
10	パーソナリティスタイルの各論を理解する②。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
11	パーソナリティ障害の概論を理解する。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
12	パーソナリティ障害の各論を理解する。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
13	パーソナリティ障害の集団精神療法の概論を学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
14	パーソナリティ障害の集団精神療法の実際を学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
15	まとめとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	全体の学びをまとめる。授業後にコメントシートを提出する。	18	
試					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題や事例の分析などから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				15 回目にレポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。 必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードなどを行いますので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p><b>教員の実務経験：</b>臨床心理士として 12 年、公認心理師として 1 年の臨床経験。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>Teams を用いて、発言やチャットを随時求めながら双方向的に授業を展開する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて具体的なイメージを伝えながら知識を学ぶことを促す。</p> <p>授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。</p>							